

## 【参考】成果発表①

# 「北海道における地方議員と住民間の協働支援システムの研究開発」

研究代表者:小樽商科大学 准教授 木村 泰知 氏

### 研究目的

一人ひとりの住民の興味や関心にあわせて政治情報をパーソナライズして自動的に提供できるシステム  
（「住民本位型政治情報システム」）を開発する。

#### ①地域選択

質問に答えるだけ！

## マッチング診断

まず、ご覧になりたい議事録の地域を選択してください。



<http://www.hokkaido-politics.net/>

#### ②地域に特化した質問生成

質問  
Question

次の内容のどちらに興味がありますか？

☐ 「情報化の推進」について詳しく知りたい。  
☐ 「コンパクトシティの実現」について詳しく知りたい。

次の質問へ

#### ③住民への情報提供

診断結果

あなたの興味にもっともよく合う  
発言を行っている議員は…

☐ 議員  
☐ 議員  
☐ 議員

もう一度診断 発言の一覧へ

#### 発言一覧

|        |    |    |    |
|--------|----|----|----|
| 2009年度 | 議員 | 議員 | 議員 |
| 2009年度 | 議員 | 議員 | 議員 |
| 2009年度 | 議員 | 議員 | 議員 |
| 2009年度 | 議員 | 議員 | 議員 |
| 2009年度 | 議員 | 議員 | 議員 |

### 社会への波及効果

地方議会会議録から各地域の特徴的な政治的問題を自動的に抽出することが可能となることであり、住民の政治的関心を高めることにつながる。